

とよかわ



- 第6次総合計画基本構想を可決! p2
- 代表、一般質問で17人が市政を問う! ... p6
- 委員会行政視察報告! p15

表紙写真／春の彩(西古瀬川(八幡町))
加藤甲子雄(東曙町)
平成27年3月15日撮影

表紙写真を一般募集しています。詳しくは議会事務局まで。

議案審議

まちの未来像「光・緑・人 輝くとよかわ」

第6次総合計画基本構想の策定

原案可決

第6次総合計画は、平成28年度から10年間の新たなまちづくりの指針となるもので、少子高齢化と人口減少への的確な対応を強く意識し、多くの人に「住みたい」、「訪れたい」と思ってもらえるようなまちづくりのため、「定住促進」や「交流促進」に寄与する施策を明確にした計画となっています。

次の4項目をまちづくりの基本方針として設定し、あらゆる行政分野のまちづくりを総合的に進めます。

- ①「定住・交流施策を進めます」
- ②「シティセールスを進めます」
- ③「市民協働を進めます」
- ④「行政経営改革を進めます」

反対!!

コンパクトシティが進めば、駅周辺や中心部以外の地域では人口が大幅に減り、商業施設やさまざまなサービスが成り立たなくなり、地域で住み続けることができない可能性が高くなる。財政健全化として起債を抑制しているが、子育て支援や地域経済を活性化する施策を推進すべきである。また、公共施設適正配置での小坂井地区のリーディング事業は地域住民の総意で決める必要があると考えるが、大多数の住民の意見を聞いていないため、反対する。

主な討論

第6次総合計画
基本構想の策定

賛成!!

まちづくり中学生会議、まちづくり市民ヒアリング、団体アンケートなどでさまざまな意見が取り入れられ、市民参画による総合計画となっている。合併前から整っている各地域の生活基盤を生かし、駅周辺の拠点とその周辺地域を公共交通などで結ぶことで利便性を維持しようとするコンパクトシティの推進は重要である。また、公共施設適正配置の推進では、地元とのヒアリングやワークショップなどにより意見を聞く姿勢を継続しており、賛成する。

賛成



反対



①リーディング事業
他の事業に先駆けて行う事業。

平成 27 年 12 月定例会

12月定例会は、11月27日から12月17日までの21日間を会期として開かれました。27年度一般会計補正予算を始めとした18議案のほか、同意 1 件、報告 1 件、諮問 1 件が提出されました。

● 一般会計補正予算 ●

原案可決

○選挙人名簿システム等改修業務委託料(151万2,000円追加)

選挙権年齢が18歳以上になることによるシステム改修を行うもの

○更生医療費(3,466万8,000円追加)

人工透析患者増加に伴うもの

○福祉医療費(4,929万4,000円追加)

後期高齢者及び子ども医療費の増加に伴うもの

○生活保護扶助費(2億2,089万9,000円追加)

生活保護対象者の増加に伴うもの

○住宅管理費(4,670万円追加)

市営住宅退去時の修繕及び赤代住宅復旧工事を行うもの

○学校環境対策事業費(2,800万円追加)

普通教室へのエアコン設置の基本設計を行うもの

● 条例の一部改正 ●

原案可決

○部設置条例及び支所設置条例の一部改正

健康福祉部を福祉部と子ども健康部に分割し、また、一宮総合支所の地域振興課と生活窓口課を廃止し、名称を一宮支所にするもの

○市税条例等の一部改正

市税制度の適正化を図るため、徴収猶予及び換価の猶予を受けるための分割納付等の方法や申請手続等、また、担保を徴する必要性が無い場合等について必要な事項を定めるもの

○児童館条例の一部改正

建て替え工事が長期間になることから一旦廃止していたあかさか児童館の工事が本年度内に完了し、28年度から供用開始するため、項目にあかさか児童館を追加するもの

※会派別賛否の状況については、5ページの議決状況の一覧でご確認ください。

28年1月1日から 個人番号の利用開始

原案可決

○個人番号の利用及び特定個人情報 情報の提供に関する条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、市の責務、庁内で連携する事務の範囲、及び、他の機関への特定個人情報の提供、規則への委任に関する規定を定めるもの



・ 公の施設に係る指定管理者の指定 ・

原案可決

所 管	施 設 名	現指定管理者	次期指定管理者	指定期間 (満了日)	指定 種別
健康福祉部	豊川市東部地域福祉センター	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	平成31年 3月31日	任意
	豊川市西部地域福祉センター				
	豊川市社会福祉会館	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	平成33年 3月31日	任意
市民部	豊川市コミュニティセンター 国府市民館 始め 市民館等30施設	国府小学校区コミュニティ推進委員会 始め 30団体	国府小学校区コミュニティ推進委員会 始め 30団体	平成33年 3月31日	任意
産業部	豊川市御油の松並木資料館	御油の松並木資料館運営委員会	御油の松並木資料館運営委員会	平成33年 3月31日	任意
	豊川市諏訪第1公共駐車場	豊川市開発ビル株式会社	豊川市開発ビル株式会社	平成33年 3月31日	任意
	豊川市諏訪第2公共駐車場				
建設部	赤代児童遊園 始め 児童遊園及びちびっ子広場95施設	赤代児童遊園運営委員会 始め 95団体	赤代児童遊園運営委員会 始め 95団体	平成33年 3月31日	任意
	豊川市催事場	豊川市開発ビル株式会社	豊川市開発ビル株式会社	平成33年 3月31日	任意
教育委員会	豊川市野外センター	一般社団法人 設楽町公共施設管理協会	一般社団法人 設楽町公共施設管理協会	平成33年 3月31日	任意

● 病院事業会計補正予算 ●

原案可決

○投資のための予算を新たに計上（10億円）

26年度の地方公営企業会計制度の改正に伴い、予算計上を義務づけられた退職給付引当金の原資の一部を20年の長期間の債券運用による資金管理を行うもの

反対!!

今回の補正予算は、退職給付引当金で地方債などを購入し、公金の運用を図るものである。国の財政赤字は国債の増発により深刻である。国債は税金の先取り消費であり、元利金の支払いが増える。国民生活関連予算が削られるという悪循環を招きかねない。国債の購入は国債発行の後押しになり、地方債購入も他自治体の借金体質の後押しになる。また、期間が20年と長期であり、リスクも懸念されることから反対する。

主な討論

27年度病院事業会計
補正予算

賛成!!

病院事業は、会計制度の変更により退職給付引当金の計上が義務化され、昨年度末時点で約26億円が計上されている。これを原資として投資有価証券による運用をするもので、病院建設に伴う経常収支のマイナスが見込まれる中、収支黒字化に向けての経営努力の一環であると認識している。また、購入する債券は元本保証のあることを条件とし、投資リスクを十分考慮され、地方公営企業法の基本原則に基づいており、賛成する。

賛成

反対

議決状況の一覧

■12月定例会 ○賛成・×反対 未来一とよかわ未来(23) 公明一公明党市議団(3) 共産一日本共産党豊川市議団(2)
無会派一1人会派(2) ※ () 内は所属人数

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況				議 決 結 果
	未 来	公 明	共 産	無会派	
75 27年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	可決
76 27年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	可決
77 27年度病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	可決
78 部設置条例及び豊川市支所設置条例の一部改正	○	○	×	○	可決
79 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	可決
80 市税条例等の一部改正	○	○	○	○	可決
81 児童館条例の一部改正	○	○	○	○	可決
82 特定環境保全公共下水道事業分担金に関する条例の一部改正	○	○	○	○	可決
83 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○	○	○	○	可決
84 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	○	○	×	○	可決
85 健康福祉部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
86 市民部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
87 産業部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
88 建設部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
89 野外センターに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
90 市道路線の廃止	○	○	○	○	可決
91 市道路線の認定	○	○	○	○	可決
92 第6次総合計画基本構想の策定	○	○	×	○	可決
同意11 公平委員会の委員の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	同意
報告15 損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	-	-	-	-	報告
諮問3 人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	異議ない

報告15については、報告のみで採決はありません。

代表・一般質問

野本 逸郎	「市長所信表明」
中川 雅之	「市長所信表明」
佐藤 郁恵	「恒久平和に向けての取り組み」「子どもたちの笑顔があふれ安全安心で人にやさしいまちづくり」「公共施設再配置」
榊原 洋二	「子ども・子育て支援新制度事業計画」
平松 八郎	「本市の風水害対策」
早川 喬俊	「がんの予防とがん検診」
堀内 重佳	「旧東海道の歴史的文化遺産を活用したまちづくり」
星川 博文	「介護保険サービスにおける整備計画等」「音羽川水系の河川整備」
柴田 輝明	「赤塚山公園における定住・交流施策の推進」
石原 政明	「本市の交通安全対策」「国が掲げる地方の活力推進を図る政策」
堀部 賢一	「本市職員の再任用制度」
神谷謙太郎	「児童生徒が充実した学校生活を送るための対応」
浦野 隼次	「子どもの予防接種」
富田 潤	「第60回愛知県消防操法大会」「消防団員の確保策」
安間 寛子	「学校、保育園へのエアコン設置計画」「馬越長火塚古墳と隣接する本市の古墳群も含め、史跡文化のまちづくりを進める考え」「介護保険制度の改定による影響」「安保健法の影響と本市の責務、自衛官募集の協力」
八木 月子	「拉致問題に対する取り組み」「子育てするなら豊川市」に対する取り組み
倉橋 英樹	「本市の公共工事」

Representative question



光・スポーツ・文化芸術の盛んなまちづくりを重点項目としている。

【問】 公共施設の適正配置についての考えは。

【答】 公共施設の長寿命化と施設機能の複合化や集約化を行い、統合により今後50年間で30%の縮減が目標。

公明党市議団代表 中川雅之



料の一部助成額の上乗
せなど、さまざまな施

策に取り組む。また、

発達支援体制の充実に
向け、28年度は具体的
な検討体制を整える。

【問】 防災センターの
整備に向けた市長の思
いは。

【答】安全安心で活気

【問】 2期8年を踏まえた今後の財政運営は。

【答】 自立した財政運営を目指すことが必要で、これまで以上に定住・交流施策を進め、企業誘致や育成、観光振興などを図り、市税収入の確保に努める。

のあるまちとなるためには大規模災害に強いまちとならなくてはならないと考え、その拠点施設として整備する

【問】 政策ビジョンに掲げた文化芸術は。

【答】担い手への支援だけでなく、親子で楽しめるものや若者向けの文化芸術作品の提供を含め、質の高い文化芸術の提供に取り組む。

心身に中程度の障害がある、個別配慮が特に必要と認められるなどの子どもを対象に保育士を増やすこと。

子どもたちの笑顔があふれ
安全安心で人にやさしいまちづくりは？

日本共産党豊川市議団代表 佐藤郁恵



【問】 予防接種の個別通知をする考えは。

【答】 赤ちゃんノートを直接渡し、スケジュールの説明をすること

【問】 27年度から新たな案内通知を実施したことで、個別通知はできているものと考えている。

【問】 夏休み期間の放

課後児童クラブの7時30分から実施の考えは。

【答】 待機児童の解消が優先で、現在のところ実施する考えはない。

【問】 住宅リフォーム助成事業と商店街リニュアル制度の実施は。

【答】 現時点では総合戦略に掲載する予定は

子ども・子育て支援新制度での
病児・病後児保育の位置づけは？

榎原 洋二



【問】 本市の子ども・子育て支援事業計画における病児・病後児保育の位置づけは。

【答】 家庭や地域における子ども・子育て支援の充実のために拡大すべき事業と考える。

【問】 病児・病後児保育の需要と計画目標は。

【答】 利用できる限り受け入れに努める考えだが、

【問】 放課後児童クラブにおける障害児の受け入れの考えは。

ないが、国や県の補助制度を注視し、状況を見極め、対応を考える。

【問】 小坂井地区の公共施設再編について、住民の意見をどのように反映させるのか。

【答】 小坂井エリア公共施設再編意見交換会での意見を参考に基本計画を策定予定。意見聴取の方法は意見交換会で協議していく。

現状では安全安心に受入れができる十分な体制が整っていない。

【問】 放課後等デイサービスの課題と今後の取り組みは。

【答】 事業を開始してから日が浅く、事業所により支援の内容や質に差があるため、厚生労働省が作成したガイドラインを参考に質の向上に努めていただく。

次回の洪水ハザードマップを
作成する際の改善点は？

平松 八郎



【問】 次回の洪水ハザードマップを作成する際の改善点は。

【答】 地域別分割作成、河川ごとのデータ統合による同一の地図内への掲載、地図の縮尺の統一などを検討する。

【問】 避難勧告の判断基準見直しの考えは。

【答】 内閣府が作成した新たなガイドラインにより、国交省などと協議しながらマニュアルの見直しを行う。

【問】 避難勧告の発令時の情報伝達方法は。

【答】 対象地域は同報系防災行政無線、消防署や消防団による巡回。市域全体は安心メール、市ホームページ、緊急速報メール。県全域は今年からLアラートの運用が開始されている。

【問】 Lアラートを市民へ周知する方法は。

【答】 老人会での講話、自主防災会の防災訓練などで、Lアラートの仕組みや、テレビやラジオの有効活用について説明していく。



③Lアラート（災害情報共有システム）

災害など住民の安全・安心に関わる情報を迅速かつ効率的に伝達することを目的とした、新たな情報流通のための基盤のこと。

がん予防への取り組みは？

早川 喬俊



【問】がん検診受診率50%以上へ向けた取り組みは。

【答】集団検診の受診会場を各地区に設け、土日にも受診可能。そのほか、あらゆる機会に周知、啓発をしている。さらに受けやすい体制づくりとして、託

児付きや受診料500円の検診を検討する。

【問】学校におけるがん教育への取り組みは。

【答】小、中学校の保健体育でがんについて学習する。がん研究振興財団のパンフレット「やさしいがんの知識」も配布されている。学

校保健委員会で取り扱うことも検討する。

【問】がん対策に関する施策を総合的、計画的に推進するがん対策推進条例制定の考えは。

【答】とよかわ健康づくり計画に基づき、がん予防に努める方策を講じていきたい。条例制定までは考えていないが、他市の事例を研究していく。

旧東海道の歴史的文化遺産の活用は？

堀内 重佳



【問】御油、赤坂地区における町並み保全は。

【答】歴史的建造物が点在することから、広域に規制をかけた歴史的町並み保全は難しい。点と点をつなぐような活用が検討課題。

【問】二川宿、吉田宿等との連携の可能性は。

【答】旅籠「大橋屋」の改修が完了し、常時公開となれば、文化財関連施設について連携した取り組みは有意義であり、調査研究する。

【問】市へ寄附された大橋屋の活用方法は。

【答】9月29日付けで市へ所有権移転が完了。

観光面や地域での活用を念頭に地元の意見を聞きながら、28年度に実施設計、29年度から30年度にかけて改修工事を実施する予定。

【問】大橋屋の建物だけでなく、彫り物や額、あんどん等の活用は。

【答】彫り物は復元改修の予定。額やあんどん等は建物の活用とあわせて検討していく。

在宅医療・介護連携推進事業の取り組みは？

星川 博文



【問】介護サービスと医療との連携を推進する在宅医療・介護連携推進事業の取り組みは。

【答】今年度は、関係多職種間の相互理解を深める研修会の開催回数を増やし、また、重点取り組みの一つである電子連絡帳システムの普及と活用を目的とした研修会を開催している。訪問診療を実施する医療機関数及び訪問診療件数が増えており、在宅医療の実施が推進されている。

【問】音羽川水系河川整備計画の目標は。

【答】洪水による災害の発生防止、適正利用と流水の正常な機能保持、河川環境の整備と自然環境の保全である。

【問】新市民病院建設時の地元要望の川田橋と西古瀬橋の整備は。

【答】県の河川改修に合わせて計画する必要があるため、河川改修の進捗を見る中でスケジュールを再検討する必要がある。



④電子連絡帳システム

地域で療養する方を支えるため、医療、介護の関係者が情報共有するためのシステム。その人についてのページができるようなもので、関係者はいつでも状況を知ることができる。

赤塚山公園を軸とした 交流施策は？

柴田 輝明



【問】 赤塚山公園来園者の状況は。

【答】 平成5年の開園以降、これまで年間約40万人で推移している。アニア二まあるができた平成7年は74万人を超えた。市外からの来場者が約半数ある。

【問】 リピーターを増

やす新しい方策は。

【答】 珍しい生き物のPR、より動物と触れ合える飼育体験など新たなことを始めている。

【問】 赤塚PAを取り込んだハイウェイオアシス整備の考えは。

【答】 赤塚PAから赤塚山公園まで通路を整

備するか、赤塚PAを移して公園に隣接させるなど多額の費用が必要で、課題は大きい。

【問】 今後の赤塚山公園再整備の考えは。

【答】 近隣の平和公園の開園、東三河環状線の整備の充実、人口減少など社会情勢の変化から、有料化も含めた再検討が必要になると考えている。

国が掲げる「地方創生」「一億総活躍社会」とは？

石原 政明



【問】 国が掲げる「地方創生」「一億総活躍社会」とは何か。

【答】 どちらも、人口減少に歯止めをかけ、50年後の人口1億人維持が目的。地方創生は、少子高齢化、過疎化対策を全国の自治体が行うこと、一億総活躍社

会は、経済政策を第一に掲げた取り組みを国が行うことである。

【問】 本市の交流人口を増やす取り組みは。

【答】 ブランドの創出、首都圏プロモーションの推進、無料公衆無線LANの活用に加え、パンフレットの多言語

化など外国人観光客に対する取り組みが重要と考えている。

【問】 鉄道駅を生かしたまちづくりの考えは。

【答】 本市を走る鉄道路線は各地域の拠点となっている。少子高齢社会の進展により公共交通に対する期待がうかがえるため、鉄道路線、バス路線などの連携が重要である。

再任用制度の考え方と 現在の状況は？

堀部 賢一



【問】 本市における再任用制度の考え方と現在の状況は。

【答】 高齢層職員の知識と経験の活用、60歳代前半の生活における雇用と年金の接続を図ることが目的。およそ8割が再就職している。

【問】 定年退職後のフルタイムでの再任用について、他市の状況は。

【答】 県下37市中19市が実施。東三河では蒲郡市が実施している。

【問】 再任用制度見直しの考えは。

【答】 長期在職者特例の要件を満たすよう、フルタイムでの再任用を行い、雇用と年金の接続を推進したい。

【問】 フルタイムでの再任用による影響は。

【答】 職員定数に含まれることになり新規採用の抑制が必要だが、将来を担う人材確保のため計画的な新規採用も重要。再任用と新規採用のバランスに留意しながら職員定数の見直しを行っていきたい。

⑤PA
パーキングエリア。

⑥長期在職者特例
共済組合の加入期間が44年以上ある場合、通常支給される老齢厚生年金に、本来は65歳から支給される老齢基礎年金に相当する部分が加算される制度。



学校と家庭の情報共有方法は？

神谷 謙太郎



【問】学校と家庭の情報共有方法は？

【答】学校の取り組みの様子は、学校で作成する各種のお便り、ホームページなどで発信し、個人的な事柄は、連絡帳や生活ノート、電話連絡、家庭訪問などで共有している。

【問】いじめ防止のために努力している点は？

【答】教職員全体でアテンナを高くし、児童生徒の様子が把握できるよう研修を積んでいる。家庭や校外において子どもの様子がおかしいと感じたら連絡をお願いしている。

子どもの予防接種への助成についての考えは？

浦野 隼次



【問】学校でのインフルエンザ予防の取り組み内容は？

【答】保健の授業で予防法について学習している。また、保健だよりなどで予防を呼びかけ、流行期には、うがいや手洗いの励行、教室の換気、必要な児童

生徒へマスク着用の指導などを行っている。

【問】子どものインフルエンザ予防接種への助成についての考えは？

【答】任意接種であるため助成していない。今後、県内各市の動向を注視していく。

【問】任意接種である

【問】小、中学校における心理テストの活用とその効果は？

【答】クレペリン検査は、個性を知り、学校生活における適材適所に、Q-U検査は、集団の様子を分析し、満足する集団づくりに役立てている。個々への対応、安心できるクラスづくりに効果的で、学力向上にもつながる。

B型肝炎、ロタウイルス、おたふく風邪の予防接種の助成についての考えは？

【答】B型肝炎については、予防接種法の改正に伴い定期接種として実施する予定であり、ロタウイルス、おたふく風邪については、近隣市で助成を実施しているため、今後、検討していく。

消防団員確保のため、市民税、保育料、給食費などで支援する考えは？

富田 潤



【問】火災現場における消防団の役割は？

【答】消防団は、消防署と連携し消火活動、人命救助等の任務に当たる。火災防衛活動は、常備消防と非常備消防相互協力体制で成立するため、消防団の役割は非常に大きなものである。

【問】消防団員数の推移は？

【答】支援団員を含め、27年4月1日現在704人であり、前年と比べ10人減少。26年の2人減

少より減少幅が大きくなっている。

【問】団員の家族の理解を得られやすいように、市民税、保育料、給食費などで団員を支援する考えは？

【答】保育料の減免、給食費の援助及び市民税の減税措置は、制度上、困難である。消防団応援事業所制度を活用し、登録事業所等に働きかけ、家族の方がメリットを感じられる施策を推進する。



⑨任意接種、⑩定期接種

任意接種は、予防接種法に基づかない予防接種。基本的には全額自己負担。
定期接種は、予防接種法に基づいて行われる予防接種。対象予防接種の種類、接種年齢も決まっており、自己負担も少ない。

⑧Q-U検査

楽しい学校生活を送るためのアンケートの通称で、子どもたちの学校生活に対する満足度と意欲を調べる検査のこと。日本語の「級友」にかけている。

⑦クレペリン検査

性格検査、職業適性検査の一種。一桁の足し算を行い、その作業量から現れた曲線からその人の性格や適性を見るもの。

小、中学校普通教室へのエアコン設置の 早期完了への考えは？

安間 寛子



【問】小、中学校普通教室へのエアコン設置を、現計画の31年度より早く完了できないか。

【答】早期完成に努めるが、各小、中学校における施工可能日数、市内業者への発注を原則とした場合の受注能力、財源確保などを勘

な保存活用計画は未定であるが、連携を密にし、対応する。

【問】中学3年生男子生徒への陸上自衛隊高等工科学校の案内配布をやめる考えは。

【答】進路を決定するための選択肢の一つであり、学校に届いた進路情報を選別することは難しいため、全て生徒に情報提供する。

公共工事の発注は適切か？

倉橋 英樹



【問】測量が必要など大きな手間を要する見積もりを業者に依頼する際の取り扱い。

【答】見積もりは無償であり、測量など詳細調査を要求するものではないので、詳細な測量や設計が必要な場合は別途業務委託とするなど、対応を考慮する。

切な受注機会の確保に向けて、入札等審査委員会での検討を予定。

【問】26年度の4半期ごとの工事完了件数の状況は。

【答】第1四半期が1件。第2四半期が18件。第3四半期が53件。第4四半期が171件。

⑬馬越長火塚古墳(まごしながひづかこふん)
豊橋市石巻本町にある史跡。27年11月に、国史跡指定への答申がされた。

⑪常備消防、⑫非常備消防
常備消防は消防本部及び消防署のこと。専任の職員が勤務。
非常備消防は消防団のこと。他に本業を持つ非常勤特別職の地方公務員。

拉致問題への市の取り組みは？

八木 月子



【問】拉致問題への市の取り組みは。

【答】北朝鮮人権侵害問題啓発週間に、市役所や支所へのポスター掲示、ホームページへの掲載を行い、市民に周知している。市としてできることは協力する考えである。

【問】アニメ「めぐみ」の学校での活用は。

【答】今後、人権教育の場面での活用、学校図書館でのDVDの貸し出しを考えている。

【問】子育て支援センター充実への考えは。

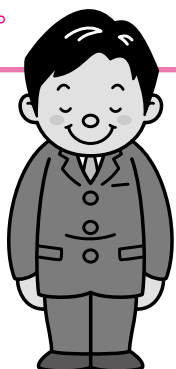
【答】より気軽に、より利用しやすいとするた

め、相談、支援体制の充実を図る。

【問】保育料滞納者への個別対応は。

【答】納付相談を行い、計画を立て、分納等の対応をしている。また、児童手当受給者からの同意を得て、天引き徴収を実施している。長期的には差し押さえも検討する必要があると認識している。

ここに掲載した代表・一般質問の内容は抜粋したものですので、詳しくはホームページで公開するインターネット議会中継(録画)または会議録をご覧ください。



⑭アニメ「めぐみ」
北朝鮮による日本人拉致問題啓発のドキュメンタリー・アニメ。横田めぐみさんの拉致事件を題材としている。市内の各小、中学校に配布されている。

委員会などの開催状況

教育委員会の成績は？

市民文教委員会 10月28日

26年度教育委員会事務の
点検・評価報告書

教育委員会自らの自己点検及び学識経験者からの評価について説明を受けました。

主な質疑は次のとおりです。

【問】 私たちの学び舎の歴史展に向けた事業展開は。

【答】 地域や学校に愛着を持つ、仲間や地域を大切にする心の育成がねらい。教員、児童、生徒だけでなく、家族や地域の方を巻き込んだ活動となっている。

【問】 伝統行事の継承は。

【答】 公開の機会の提供、金銭的な補助が必要だと考えている。文化財の視点だけでなく、コミュニティや観光といったいろいろな要素がつながりを持つ取り組みを進めていきたい。



定住促進!交流人口増加!活気あるまちを目指して

政策課題調査特別委員会 11月12日

まち・ひと・しごと
創生総合戦略

第6次総合計画（案）を基本とし、将来にわたって住みよさを実感でき、活気あるまちにするための施策について説明を受けました。

主な質疑は次のとおりです。

【問】 駅周辺に居住などを集約するコンパクトなまちづくりの推進では、中心部とその周辺地区で相反する施策とならないか。

【答】 駅周辺への集約化は主に市外からの転入者を想定しており、現在住んでいる方を集約するわけではない。現在住んでいる方に対しては、交通手段などの検討をしながら駅を中心としたまちづくりを考えている。

【問】 豊川産農産物のブランド化、地産地消の推進に関する具体的な予定は。

【答】 まだ具体的な事業の予定はないが、今後、この方針で事業選択をしていく考えである。

ごみの減量、ごみ出し利便性の向上を

福祉環境委員会 12月10日

豊川市一般廃棄物処理
基本計画の見直し

一般廃棄物処理の基本的事項を定めた計画（23年度～32年度）の見直しについて説明を受けました。

主な質疑は次のとおりです。

【問】 ごみ減量目標値をこれまでの1人1日1千㌔から980㌔とした根拠は。

【答】 ごみの減量は計画以上に進んでいるが、古紙やビンなど資源発生量減少も理由の一つ。これまでの計画値からこの減少分20㌔を削減するものとした。

【問】 ごみ減量対策として重視するものは何か。

【答】 最も多い生ごみの減量が必要。発生抑制に向けて市民の皆様にご協力をお願いしていく。

【問】 独居の高齢者など、現行制度でステーション排出が困難な者への対策は。

【答】 一定の条件を満たす方に対し、玄関先まで回収に伺う制度を考えている。

目標！ 汚水処理人口普及率 95%！

県が作成する全県域汚水適正処理構想のもととなる本市の汚水適正処理構想について説明を受けました。
主な質疑は次のとおりです。

産業建設委員会 12月11日
豊川市汚水適正処理構想(案)

【問】 37年度末までに、下水、農業集落排水、合併浄化槽を含めた汚水処理人口普及率95%達成の用途は。

【答】 従来どおりの整備費が確保できれば達成できる見込み。交付金に関して国や県に対し強く要望するとともに、低コスト技術の導入等でコスト縮減に努める。

【問】 下水道事業を進めるため人口当たり事業費を採用しているが、安価な地域が優先される理由は。

【答】 これは1人当たりに係る下水道の整備費を示すもので、人口密度が多い地区の方が人口当たり事業費が安く、費用対効果も高く、普及率が促進されるためである。

その他に開催された委員会

11月 12日 総務委員会

平成28年度組織機構改革

11月 12日 政策課題調査特別委員会

東三河広域連合

12月 10日 福祉環境委員会

第3次豊川市障害者福祉計画(案)

議会だよりの有料広告を募集します！

募 集 枠 2枠 (年4回発行 1枠：年80,000円)

募集期間 平成28年3月1日(火)～31日(木)

応募方法 豊川市ホームページの「市議会ホームページ」に応募方法を掲載します。申込書等をダウンロードし、必要事項をご記入いただき、議会事務局へご持参ください。また、議会事務局でも申込書等を配布します。



⑮全県域汚水適正処理構想

様々な汚水処理施設を将来に渡ってどのように整備することが最適なのか、市町村が作成した構想を県が取りまとめたもの。

新議員研修会

11月10日に、4回目となる新人議員対象の研修会を開催しました。

今回の研修は、平成25年5月に移転開院をしました市民病院で行い、病院事業管理者からのあいさつの後、施設の概要や経営状況について説明を受けました。

その後、救急センター、外来の総合受付を始めバースセンターなどの病棟施設や、地震の揺れの軽減効果が高いと言われる免震構造などを見学しました。



市民病院免震構造見学の様子

陳 情

陳情第9号 ～第12号

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情

愛知自治体キャラバン実行委員会 代表 森谷光夫

結 果 陳情第9号から陳情第11号は、常任委員会において不採択と決定。
陳情第12号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

陳情第13号

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情

陳情第14号

愛知県看護職員15万人体制などの実現を求める陳情

陳情第15号

「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情

愛知県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 西野ルミ子

結 果 陳情第13号から陳情第15号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

陳情第16号

国に対して「子ども・子育て支援新制度に対する意見書」の提出を求める陳情

愛知保育団体連絡協議会 会長 伊藤洋子

結 果 陳情第16号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

陳情第17号

豊川西部土地区画整理事業地内公園整備計画の早期完成を求める陳情

陳情者代表 菊地千恵子

結 果 陳情第17号は、産業建設委員会において不採択と決定。

陳情第18号

第2子以降の「育休退園」制度の緩和・撤廃を求める陳情

藤原遼太郎

結 果 陳情第18号は、福祉環境委員会において不採択と決定。

※ 国や県に対して意見書の提出を求める陳情は、申し合わせにより「聞きおく」としています。

※ 「聞きおく」とされた陳情は、全議員にその写しを配布し、各会派が陳情内容により意見書や決議の発議が必要と判断した場合は、定例会の中日の前日までに案を添えて議長に申し出るになっています。

今期定例会において、申し出はありませんでした。

行政視察報告

福祉環境委員会



前橋市会議室にて

10月14日 新潟県上越市 再生可能エネルギー

10月15日 群馬県前橋市 介護予防事業

前橋市では、介護予防事業としてさまざまな事業を行っています。オリジナルの介護予防体操「ピンシャン！元気体操」は広く市民に周知され、多くの会場で取り組まれています。また、「介護予防活動ポイント制度」は、高齢者の社会参加・地域貢献や自身の介護予防・健康増進につながっています。その制度や取り組み内容は、大変参考になりました。

議会運営委員会



流山市議会議場にて

10月19日 神奈川県横須賀市 予算決算常任委員会

10月20日 千葉県流山市 議会のICTの推進

流山市は、全国市区議会の議会改革度ランキング調査で1位となった実績があり、また、ICTにおいても、議場でのプロジェクターとスクリーンの活用や委員会のインターネット中継などに取り組んでいます。さらに、タブレット端末による電子採決も導入しており、議会情報の見える化において大変参考になりました。

表紙写真募集

議会だよりの表紙に写真を掲載してみませんか？

議会だよりの表紙に写真を掲載してみませんか。

保育園や小中学校の行事や市内でのイベントなど、市内で撮影された写真（未発表のものに限ります）を広く募集しています。

なお、お寄せいただいた写真は、表紙以外の箇所に掲載させていただくことがあります。

また、撮影された本人または対象物の所有者の承諾が得られているものに限ります。

【応募方法】

題名、撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号を明記の上、議会事務局までお送りください。

お問い合わせは、豊川市議会事務局（電話0533-89-2150）まで。

インターネットでは

豊川市議会

検索



次回の定例市議会 (平成28年第1回定例会)

◆会期日程予定

2月25日(木)	開会・議案説明	13時30分	3月10日(木)	常任委員会	10時
3月 1日(火)	代表・一般質問	10時	3月14日(月)	予算特別委員会	10時
3月 2日(水)	一般質問	10時	3月15日(火)	予算特別委員会	10時
3月 3日(木)	一般質問	10時	3月16日(水)	予算特別委員会	10時
3月 7日(月)	議案付託・一部採決	13時30分	3月17日(木)	予算特別委員会	10時
3月 9日(水)	常任委員会	10時	3月22日(火)	討論・採決・閉会	13時30分

- インターネットで本会議の様子をライブ(生中継)、録画で配信します。
豊川市ホームページ内の「市議会ホームページ」をご覧ください。
- 会期中は本庁舎1階ロビーで、テレビモニターへの中継放送を行います。
議場での傍聴もできます。ぜひお越しください。

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

12月定例会では、市長が新たな政策ビジョン実現を目指すとして表明。議会は対応をチェックし、多様な民意を反映させることが重要だと考えます。今後、議会だよりを充実させ、市民の皆様にとって理解しやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

編集委員長 中川雅之

編集後記

市議会は傍聴できます!



市議会本会議や委員会は、一般の方でも傍聴することができます。会議の開催日を事前にご確認のうえ、市役所本庁舎3階にある本会議場または委員会室へ、ぜひ足をお運びください。

広告

財源確保のため、有料広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へ。

わい!わい! ポイントカード 会員大募集!!

J Aひまわりの事業利用でポイントを貯めて、
値引きや商品交換に使う!
入会のお手続きは、J Aひまわり各店舗まで!
(グリーンセンター・Aコープ・金融店舗など)

ひと・夢・いいね。
JAひまわり

お問合せ先 本店 企画課 豊川市諏訪1-1
☎85・3171 [JAひまわり](#) [検索](#)

住宅ローン、各種ローンのご相談・年金相談・資産活用等のご相談

かわしん本店 休日相談プラザ

営業日/土曜・日曜・祝日 AM10:00~PM5:00

八南支店 日曜相談プラザ

営業日/日曜日 AM10:00~PM5:00

詳しくは窓口または休日相談プラザ予約窓口へ
(お問い合わせ先) **0120-18-9808**

豊かな暮らしのお手伝い

豊川信用金庫

豊川市議会だより 発行/豊川市議会 編集/議会だより編集委員会
お問い合わせ先/豊川市議会事務局
〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地 電話0533-89-2150

豊川市のホームページで
「議会だより」がご覧になれます。

[豊川市議会](#) [検索](#)